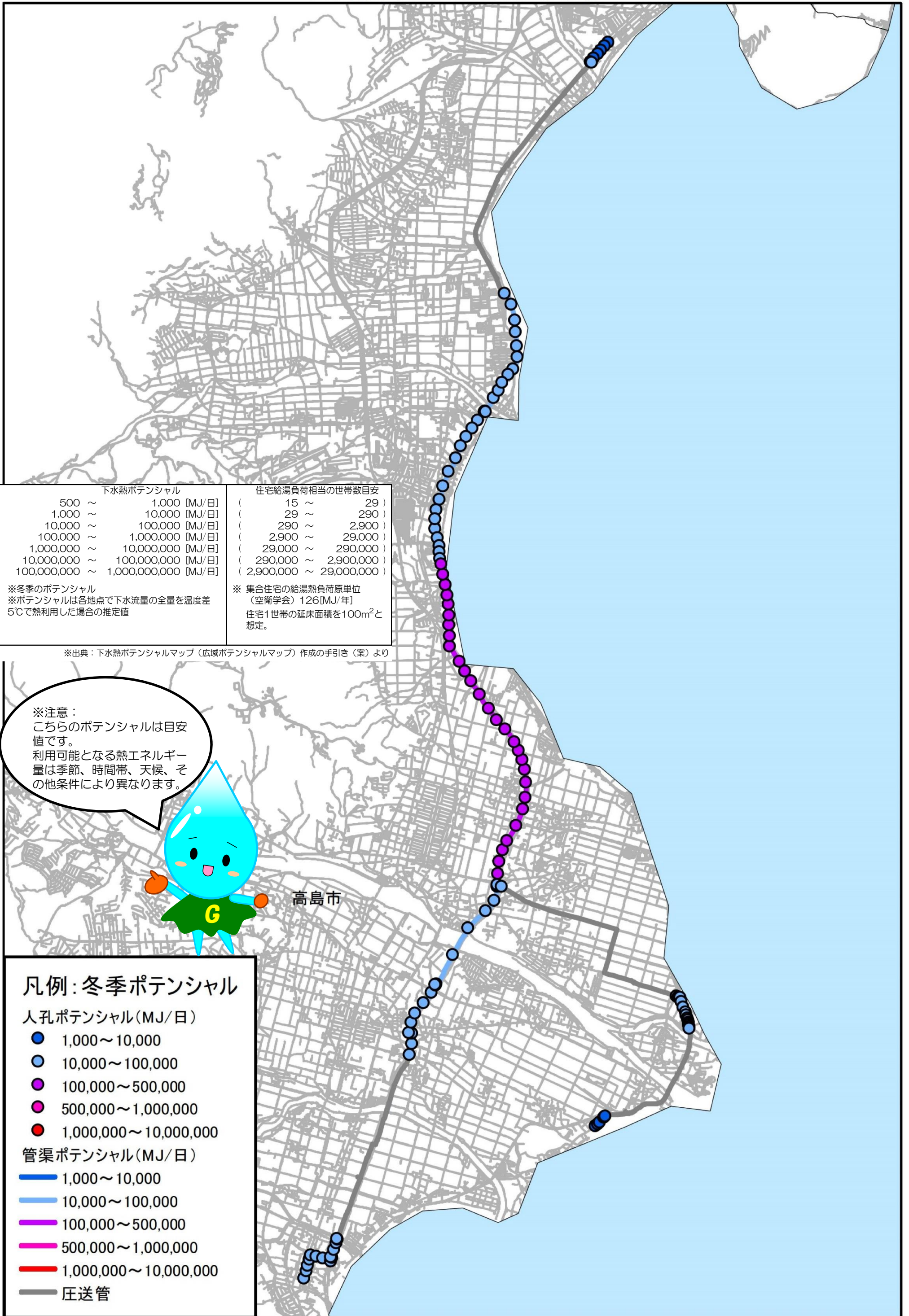


# 下水熱ポテンシャルマップ(高島)



下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安	
500 ~	1,000 [MJ/日]	( 15 ~	29 )
1,000 ~	10,000 [MJ/日]	( 29 ~	290 )
10,000 ~	100,000 [MJ/日]	( 290 ~	2,900 )
100,000 ~	1,000,000 [MJ/日]	( 2,900 ~	29,000 )
1,000,000 ~	10,000,000 [MJ/日]	( 29,000 ~	290,000 )
10,000,000 ~	100,000,000 [MJ/日]	( 290,000 ~	2,900,000 )
100,000,000 ~	1,000,000,000 [MJ/日]	( 2,900,000 ~	29,000,000 )

※冬季のポテンシャル  
 ※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値

※ 集合住宅の給湯熱負荷原単位  
 (空衛学会) 126[MJ/年]  
 住宅1世帯の延床面積を100m<sup>2</sup>と想定。

※出典：下水熱ポテンシャルマップ（広域ポテンシャルマップ）作成の手引き（案）より

※注意：  
 こちらのポテンシャルは目安値です。  
 利用可能となる熱エネルギー量は季節、時間帯、天候、その他条件により異なります。

**凡例：冬季ポテンシャル**

人孔ポテンシャル(MJ/日)

- 1,000~10,000
- 10,000~100,000
- 100,000~500,000
- 500,000~1,000,000
- 1,000,000~10,000,000

管渠ポテンシャル(MJ/日)

- 1,000~10,000
- 10,000~100,000
- 100,000~500,000
- 500,000~1,000,000
- 1,000,000~10,000,000
- 圧送管